

2022年度 事業報告書

(2022年9月1日～2023年8月31日)

特定非営利活動法人 亘理いちごっこ

1. 事業概況

① 家庭保育園事業【わたり家庭保育園いちごっこ（亘理町認可保育園）】 および、② 生活サポート事業【生活サポート+生活援助サービス（亘理町委託事業）】を主軸とし、③ 子どもサポート事業、④ 陽だまり事業（地域音楽交流等事業）などを進めてきた。次に、各事業について詳細を述べる。

2. 各事業詳細

(1) 家庭保育園事業【わたり家庭保育園いちごっこ】

2018年、亘理町より認可を受け開園してから、6年目を迎える。2年目途中より”モンテッソーリ教育“を取り入れ、個々を大切にしたい保育を進める。



8/2 プール開き

また、5人という少人数であるからこそその活動を取り入るの伺い家庭的保育を進める他園とも交流を図る。NPO 法人と隣接する土地を借り、《ミニ広場》の整備を進め、自園の子どもたちだけではなく、地域の子育て親子や他園の園児の利用を促している。



11月 合同火災訓練



11/12 芋ほり大会



3/7 JA みやぎ様からいちごのプレゼント



おわりのつどい

(2) 生活サポート事業

亘理町委託事業【生活援助サービス】と、介護保険サービスを利用せずに困りごとを解決する【いちごっこ生活サポート】の2本立てで事業を遂行してきた。



大阪コミュニティ財団の助成により、半径約10km内に暮らす高齢者世帯にお知らせはがきをDMにて配布した。多くの反響をいただいた。直接にサービスに結びつかなかった問合せも多数いただくことができた。

1年近く経った今も、「このはがきをお守りにしています。連れ添いが亡くなって不安だったが、自分でいろいろなことができなくなったときは、いちごっこにお願いしようと大事に連絡先を取っています。」という声が届く。

NPOとして私たちが本望とするお仕事をいただいている。

下に今年度の利用状況を挙げる。

2022年度 生活サポート・生活援助サービス 実績集計表															
2022年度 (利用件数)		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計	
生活サポート	ごみ出し	11	6	8	7	9	7	11	13	12	11	11	13	119	
	粗大ごみ処理等		1	1				1						3	
	掃除	1		1	4									6	
	庭掃除等	4	2	1		1		2		2	4	6	2	24	
	買物代行	3	2	4	3	4	2	2	3	3	3	3	7	39	
	ベビーシッター				8		6	6			2			24	
	在宅サポート	4	4	5	3	5		1	10	5	7	2	3	49	
	病院サポート				2		2							4	
	ペット散歩													0	
	その他			1							1		1	1	4
合計件数		23	15	21	27	19	17	23	26	25	25	23	28	利用者数 22	
利用額		100,750	33,000	48,450	60,293	22,350	60,400	19,000	73,110	66,450	57,250	52,900	65,150	659,103	
利用者数		8	7	9	8	5	7	8	6	8	6	8	9	89	
生活援助	調理	8	5	4	6	3	4	4						34	
	ごみ出し	2	2	2	2	2	3	3	11	14	4	8	12	65	
	掃除	2	10	7	6	6	3	3	7	6	10	8	16	84	
	買物代行		1	1	2	1							9	14	
	在宅サポート													0	
	合計件数		12	18	14	16	12	10	10	18	20	14	16	37	197
	利用額		23,320	36,040	27,560	31,800	23,320	18,020	18,020	13,780	15,900	12,720		33,450	253,930
利用者数		3	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	4	利用者数 9	

利用件数、利用額も昨年度の2.2倍越えとなった。生活サポート事業を進めて5年、生活援助サービスの委託を受けて3年。少しずつ当法人の活動が定着しつつある状況である。

介護保険サービスを頑なに受けようとしなない誠克サポート利用者を公のサービスにつなげることが出来たり、「いちごっこのおかげで、今のままの生活を続けることができる」などの声をいただいている。

個のいただく言葉一つ一つはひとえに、サポートメンバーのあたたかな献身的な対応の賜物と受け止めている。



生活サポート MTG



在宅サポート

活動の紹介 DM に、スタッフ募集も呼び掛けた。4人のサポーターが新たに加わり、それぞれのご家庭により良いサービスができるよう、全員で取り組んでいる。

介護保険サービスと併用する家庭もあり、町や介護事業所等と連携した動きが出てきている。

様々なニーズに対応できるよう、スタッフの充実をこれからも図っていかねばならない。

(3) 子どもサポート事業

寺子屋事業を止めて3年が経過した。今は寺子屋スペースを【Watalink】に貸し出し、学習環境を活用していただいている。

勉強面での直接的な関りはないが、今年も【ポニーキャンプ】を実施することができた。コロナウィルス感染拡大の影響を受け3年のお休みの後、昨年度から再スタート。



7月 ポニーキャンプ



にぎやかな食事風景

今までは、仙台・名取からの参加者が大半を占めていたが、今年は亶理山元町の地元の子どもたちが半分を越える参加となった。

学校での交流とはまた違った、異世代異地域の子どもも交流を図ることができた。

キャンプ立上のころから参加していた子どもたちは中学生となり、「高校生になったら、今度はシニアとして参加したい。小さい子たちや馬のお世話をみんなと一緒にやっていきたい」という声を聞くことができた。

人と人のかかわりが希薄となりがちな今。

ゲームばかりやって過ごしているだろうと思われがちな子どもたち。

そんな時世感とは裏腹に、子どもたちのパワフルな活動・人との関り、そして自分以外のひと・動物あらゆるものへの興味関心。おもいやりを見出すことができた。

このような機会を、子ども自身が見出していくことは難しい。

<おとな、私たちがどれだけ子どもたちの経験値を高めていくことができるか> そのような真価を問われている。



7月 ポニーキャンプ

12月には恒例の、<福岡工業大学附属高校 ダンス部>の生徒たちが、被災地交流研修に訪れてくれた。亶理山元町を視察研修したり、地元の方たちの話を伺ったりと時間は流れ、最終日には恒例の【ダンス部オリジナル交流会】が行われた。山下地域交流防災センター ひだまりホールの視察研修後、地域の年配の方 20名ほどにダンスを披露し、一緒にお食事をしながら交流を深めた。



震災遺構・中浜小学校見学
子どもたちが一夜を過ごした屋根裏部屋



山元町語りべの会から説明を受ける

3年間コロナのために来ることができなかった高校生たち。先輩たちから被災地での交流について語り継がれ、いろいろな思いをいただきながら、ここを訪問してくれた。

地域の方たちにエネルギーをもたらしてただけではなく、彼らは何らかのものを心に受け止めて帰っていくことができた回であった。



クリスマスソングに乗ってダンス披露



地域の方との交流会

(4) 陽だまり事業

前年度最終月に開催した【第1回 陽だまりアンサンブルコンクール及び、ガラコンサート】に引き続き、8月に第2回目となるコンクール及びガラコンサートが行われた。

2回目は、一般財団法人 陽だまりハーモニーの主催事業。前年度の経験を活かし、協力の形で事業にかかわった。

2日間にわたって、質の高い音楽を皆さんに味わっていただくことができた。



8.27.陽だまりアンサンブルコンクール・ガラコンサート



3. 全体を通して

立上事業であり、地域交流および健康維持食の普及事業であった【コミュニティレストラン事業】を止めてから1年半。未だにお弁当の問い合わせをいただくこともあるが、《健康食のいちごっこ》から、《生活サポートのいちごっこ》へと定着化が進められている。

「困ったことがあったらいちごっこに行けばいい」そんな地域のNPOとしてより活動を進めていくことができるよう取り組んでいかなければと強く感じる。

だれの手助けも受けずに、人は生き続けられるものではない。ではどこに手を伸ばせばいいのか。その先に当法人が機能していくことができるよう今後も取り組んでいかなければと強く考える1年となった。

子育て世帯も、ご高齢世帯も、また他地域からここを訪れる人々も、だれかと歩むことで豊かな人生を形成していくことができる。そしてその豊かさが、また次の豊かさを生み出ししていくのである。その一步一步の一助に、私たちNPO法人互理いちごっこは機能していく。

4. 助成団体等

次にあげる助成によって、これらの事業をつつがなく遂行していくことができた。

また、多くの励ましや、寄付によって当法人は励まされ、奮い立たせていただいた。

ここをもって心より感謝の意を表す。

助成元：(公財)大阪コミュニティ財団

社会福祉協議会 宮城県共同募金会

2022, 2023 年度 みやぎチャレンジプロジェクト

寄付金、ぶどうやもも、梨などの果物、絵本、メンバーのための学びの本 など

本当にありがとうございました。